

「三重県子ども少子化対策計画(仮称)」の数値目標について

山本 勝 議員
(自民みらい/桑名市桑名郡選出)



問

日本創成会議の「スト
ップ少子化・地方元氣戦
略」では、国民の希望が叶った
場合の合計特殊出生率として
2025年に1・8を実現する
ことを基本目標としており、20
歳代の結婚割合が増えれば実現
可能と推定されています。個人の
価値観が尊重されることが大前
提ですが、現在策定中の計画に、
合計特殊出生率や出生数などの
数値目標を入れる考えはありま
すか。

答

計画に基づく対策は長
期にわたり計画的に進め
る必要があるため、進捗状況等
を「見える化」し、PDCAサイク
ルを回すために、10年先のめざ
すべき社会像を踏
まえた総合目標を
数値目標として設
定することとし、
少子化対策に関す
る目標は、合計特殊出生率や出
生数をもとに設定する方向で議
論しています。



三重県の少子化対策のキャッチフレーズ

その他の質問事項
○県北部海抜ゼロメートル地帯
の諸課題について ほか

若年無業者への
就労支援を

北川 裕之 議員
(新政みえ/名張市選出)



問

「⑤地域若者サポートス
テーション」(サポステ)
が県内に4か所ありますが、高
校在校生への支援の仕組みを県
で作ってほしいとの意見をお聞
きします。サポステが進路決定
されにくい生徒を支援する体制
づくりを学校と連
携して準備してい
けば、未就職や離
職のまま無業者に
なる若者を救える
のではないかと考
えますが、県としての支援策に
ついてお聞かせください。

答

在学学生はサポステの対
象外ではありますが、県
では在学生を対象にサポステの
支援内容等の紹介をしていま
す。また、サポステと学校の連
携を促進する会議を開催すると
ともに、未就職の卒業生を支援
するため県教育委員会と情報共
有を行う体制を整備するなど、
切れ目のない支援に取り組んで
います。



いが若者サポートステーション

その他の質問事項
○救急医療情報システム「MIE
NET構築事業」について ほか

「第27回全国菓子大博覧会・
三重」の開催に向けて

中川 正美 議員
(自民みらい/伊勢市選出)

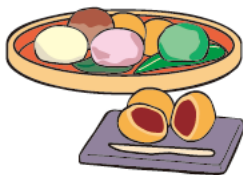


問

2017年に伊勢市で
「第27回全国菓子大博覧
会・三重」が開催されますが、
御遷宮後のイベントとして、ゼ
ヒオール三重で盛り上げてい
ただきたいと思えます。また、
2013年に「和食」がユネス
コ無形文化遺産登録され、世界
から日本の食文化に高い関心が
寄せられています。国内向けだ
った日本の菓子を海外に発信す
る良い機会であると考えます
が、いかがですか。

答

本県での菓子博の開催
は、伊勢志摩地域をはじ
め、県内への大きな経済波及効
果が期待されると
ともに、三重の食
を発信する絶好の
機会であると考え
ます。このため、関
係者として、関
論させていただきながら、菓子
博を世界に向けた情報発信の場
として、より効果的なものにし
ていくよう取り組んでいきます。



その他の質問事項
○難病対策について ほか

子どもの貧困対策の
推進を

杉本 熊野 議員
(新政みえ/津市選出)



問

平成26年1月に「子ど
もの貧困対策の推進に関
する法律」が施行されました。
支援の緊急度の高い子どもへの
施策や「学力保障」のための総
合的な貧困対策が必要です。ま
た、「検討の場」の設置と三重
県の計画の策定も
必要だと考えま
す。そこで、法を
受け、県としてど
のように取り組ん
でいくのか、お伺
いします。

答

県では、学識経験者等
からなる会議を設け、平
成27年度に子どもの貧困対策計
画を策定します。子どもが生ま
れた環境により将来の可能性の
チャンスが無くなったり、貧困
が世代を超えて連鎖したりしな
いよう、すべての子どもが夢と
希望を持って成長していける三
重県の実現をめざして取り組ん
でいきます。



その他の質問事項
○遷延性意識障がい者の実態調
査と今後の取組について ほか

文中の傍線部分については、5~6ページに用語解説を掲載しています。